

第12回 けん玉道関西グランプリ2014 大会要項

- 目的 けん玉界の頂点「第36回全日本けん玉道選手権大会」に向けて、けん玉の技術向上と精神力を鍛え、個々の課題を明確にする
- とき 2014年4月27日（日）9時～14時30分（開会8時45分）
- ところ 大阪市立信太山青少年野外活動センター(<http://www.shinodayama.com>)
〒594-0023 大阪府和泉市信太町3-12-86
【最寄駅】 JR「信太山」下車 徒歩30分
- 主催 日本けん玉協会関西総支部
- 参加費 1人 1000円
- 参加資格 関西地区（2府4県）在住であり、小学5・6年生以上で三段以上の実力を持ち「けん玉日本一」に向けて挑戦し、将来の「全日本選手権大会」を目指そうとする人ならだれでも参加可能。
- 持ち物 協会公認けん玉、筆記用具、上履き、昼食、飲み物
- 備考 同日に行う「けん玉道関西チャンピオンシップ」との重複参加は不可

《試合方式説明》

- ・日本けん玉協会認定段位を持たないものについては、事前に実力検査を行ない、三段以上の実力を認められた場合、大会に参加できる。
- ・予選は大会選技①～⑫の12種目2回制の計24点満点の得点制方式。
- ・予選得点順に、上位8名（1位～8位）、下位8名（9位～16位）が決定され、それぞれの上位、下位の決勝トーナメントに進出する。17位以降は敗退となる。
- ・けん玉は、日本けん玉協会の公認けん玉（新富士、新さくら、TK16Master、夢元、大空）を使用すること

《けん玉検査》

- ・日本けん玉協会「規程集」を参照下さい。
- ・使用けん玉は、できるだけ新品の品質を保持しなければならない。
- ・玉の穴は、原型を保持している。
- ・けん玉にキズ、破損、再塗装、修理、加工等がある物は使用できません。
- ・その他、使用けん玉の試技の成否に影響すると判断される、キズ、カケ、破損等は、審判団で協議し使用の許可を決定する。

《予選・得点制競技》

- ・予選開始前にけん玉検査を行ない、合格したけん玉を使用する。
- ・第一次予選のみで、二次予選（敗者復活戦）は行わない。
- ・大会選技①～⑫の12種目を2回ずつ行う
- ・各試技1回の成功につき、1点とする（合計24点満点）
- ・各試技は主審の「はじめ」の合図を聞いてから15秒以内に開始し「それまで」の合図（「はじめ」から40秒）があるまでに技を完了しなければならない
- ・各選手の試技は、審判の選手が「成功」及び「失敗」を判定した瞬間に完了する
- ・「はじめ」の合図の前に試技を行なった場合、その試技は失敗とする
- ・「はじめ」の合図から15秒以内に試技を開始しなかった場合、その試技は失敗とする。
- ・「それまで」の合図までに完了しない場合、その試技は失敗とする。
- ・「それまで」の合図と、審判の判定が同時であった場合、審判の判定を優先する。
- ・「それまで」の合図は、全員の試技が40秒以内に完了した場合は行わない。
- ・試技が別の選手の試技により妨害された場合、やり直しを求めることが出来る（挙手により主審・副審・大会スタッフに合図を行うこと。勝手にやり直さないこと）
- ・予選得点が同点の場合は、以下の方法に基づいて順位を決定する。
 - （1）各種目の1回目の合計得点が高い人が上位とする。
 - （2）同点の場合は同順位とする。

《決勝・トーナメント戦》

- ・得点順位の高い上位8名が決勝トーナメントに進出。
- ・予選順位の上位から順にくじ引きを行ない、トーナメント表の位置を決める（同順位の場合、年少の選手からくじを引く）
- ・先攻後攻については、トーナメント表の左側の選手を先攻とする。
- ・選技は、各クラス規定の①～⑫の種目からくじ引きで決める。
- ・1回戦と準決勝戦については、4本勝負（2本先取勝ち）
- ・決勝戦については、6本勝負（3本先取勝ち）
- ・各試合、1対1（決勝2対2）になった時点、または規定の本数で同点となった場合は「タイム競技B」で勝負を決める。
- ・主審の「はじめ」のコールの後、15秒以内に試技を開始すること
- ・主審の「はじめ」のコールの後、40秒以内に試技を完了すること
- ・上記2項目に違反した場合、その試技は失敗とする。
- ・くじとトーナメント表の配置については、当日発表する。

《表彰》

- ・上位入賞者「優勝者」「準優勝者」「第3位」表彰状とメダルを授与する。
- ・下位入賞者「優勝者」「準優勝者」「第3位」表彰状とメダルを授与する。

《その他》

- ・けん玉(予備も含む)などが必要。
- ・当日の飛び入り参加や見学は自由です。

《連絡先》

この大会に関する質問、お問い合わせは下記まで。

日本けん玉協会 関西総支部 事務局

奥野 睦夫 (TEL) 090-6604-2334 (E-Mail) alpaca-kendama@emobile.ne.jp

けん玉道関西グランプリ大会選技

- ① 二回転飛行機
- ② つるし一回転飛行機～はねけん
- ③ うぐいすの谷渡り
- ④ つるし一回転灯台～とんぼ返り
- ⑤ 宇宙一周～地球まわし
- ⑥ ろうそく返し
- ⑦ 二回転灯台
- ⑧ 宇宙遊泳
- ⑨ すべり止め極意
- ⑩ 円月殺法
- ⑪ (変動種目 1) 二回転はねけん
- ⑫ (変動種目 2) 稲妻落とし

☆技の説明（詳しくはルール解説を確認すること）

○ろうそく返し

ろうそく(前ふりでもうらふりでもよい)を完成させ、そこからけん玉全部を空中に上げてけんをつかみ、玉をけんにさす技。

○宇宙遊泳

けんを持って振りながら空中に投げ上げ、けん玉を空中で1回転させて玉をつかみ、そこから飛行機を行なう技。

○円月殺法

けんを持って振りながら空中に投げ上げ、けん玉を空中で1回転させてけんをつかみ、そこからふりけんを行なう技。

○変動種目⑪【二回転はねけん】

飛行機を完成させた後、けんを投げ上げ、けんを手前に2回転させ、けん先を玉の穴に入れる。

○変動種目⑫【稲妻落とし】

けんを持ち(皿胴を持たないこと)、玉を下につり下げて構える。糸が張った状態のまま、玉を振り上げてけんを放し、けん玉を空中前方に投げ上げ、糸の張った状態でけんと玉を結ぶ糸の中央付近を中心にけんと玉が2回転してきた時に玉をつかみ、「飛行機」のようにけんを振り出した後、けんを手前に1/2回転させ、けん先を玉の穴に入れる。

※けん玉通信 206号「第36回全日本けん玉道選手権大会」変動種目(参照)